



にんにく

品種は収穫直後に薄い綺麗なピンク色をしている在来種や、皮も実のまわりも白いホワイト種など。



らっかせい

品種は、北海道でも栽培可能な「郷(さと)の香」など。

北海道で生産量増加中 北の畑のニュースターに注目!

「新顔作物」の一つ目はにんにく。中国産の価格高騰などにより生産量を伸ばし、2021年には全国2位(農林水産省「令和3年産 野菜出荷統計」より)となっている。二つ目はさつまいも。道外産と比べると、ホクホクというよりはねっとり感と甘さが強くなるのが特徴となっている。そして三つ目がらっかせい。乾燥に強く暖かい気候を好む作物ではあるが、昼と夜の寒暖差が大きい北海道の気候のもとでは甘味が強く生育する。播種や収穫作業などにおいて機械化を進めている十勝地方のほか、空知地方、石狩地方などで栽培されている。



詳しくはこちらから
<https://hokkaido-shingao.com/>

新顔作物

近年、道内で広がりを見せているにんにく、さつまいも、らっかせいの生産。北海道はこれらの野菜を「新顔作物」と位置づけ、販路の拡大を後押ししている。ここではどんな特徴があり、どんな魅力を秘めているのか取り上げよう。



さつまいも

品種は、甘みの強い「シルクスweet」、収量が多い「紅あずま」、しっとりした食感の「紅はるか」などを栽培。

七飯町

農薬を使わない・養液を捨てない 見据えるのは「美味しいSDGs」

「美味しいSDGs」をコンセプトに、2006年から新しい農法に取り組んでいるアプレ。その農法とは「農薬を使わない・養液を捨てない」ことを目標にした水耕栽培だ。「地球の真水の7割が農業に使われていると言われていいます。農薬や抗生物質も多く混ざっている養液を川や海に流出すると、地球の汚染につながってしまう恐れがあります。環境保全のためにも、未来への投資のためにも、私たちに何ができるかを考え、この栽培方法に挑戦しています」と代表取締役の高橋廣介さん。「利益だけ考えたらコスパは悪い」と笑いますが、この仕組みを変えることはないときっぱり。

96mもの長さの2棟のハウスで栽培しているのは、クレソン、ルッコラ、ベビーリーフ、春菊など約20品目。食品安全・労働環境・環境保全に配慮した「持続的な生産活動」を実践する企業に与えられる世界ブランド「Global G.A.P.」の認証も取得している。2023年からは水耕栽培によるさつまいもの苗作りも実施。「今後も新しいことに挑戦していきたい」と決意を固める。

進化する 農ワールド

- Evolve Agri World -

限りある資源を最大限に活用したり、
収穫物を使用して新たな商品開発をしたり。
北海道農業界に吹く“新しい風”を紹介します。

農業×SDGs

限りある資源を最大限に活用する「SDGs」の取り組み。地球温暖化進行、食料の安定供給などの課題を解消するために「SDGs」は大きな役割を担うと考えられ、現在、農業の世界にもさまざまな形で取り入れられている。

農家さんが贈る自慢の加工品

愛別町

きれいな赤色が映える

スーパーフルーツ・アロニアのドレッシング

果実界でトップレベルの栄養素を誇り、「寒冷地のスーパーフルーツ」との呼び声が高いアロニア。近年、愛別町でも盛んに生産されており、町内の農家・夢農園のアロニアを使ったドレッシングも開発された。苦みやえぐみといったアロニアの懸念される要素を取り除きつつ、美しい色味とほのかに感じる酸味はそのまま残した1本は、サラダにかけるのはもちろん、お肉料理やお魚料理にも合うと大好評。町内の木村商店や協和温泉、「蔵KURARA」などで販売中。

代表
村上 加代子さん



夢農園

愛別町中央610
TEL.090-3892-1077



(左) 上田 卓司さん
(右) 上田 瞳さん



苫前町

低農薬で丁寧に育てたかぼちゃを 独自の製法で程よいもちもち食感に

苫前町からおいしいかぼちゃを届けてくれる上田ファームの「かぼちゃ団子」は、主原料にじゃがいもなどを混ぜず、かぼちゃのみを使用。焼いてもよし、揚げてもよしで、おやつやおつまみにぴったり。種類は2020年度北のハイグレード食品に認定された「プレーン」、自家栽培小豆の手作りあんこがはいった「あんこ」、とろりととろけるチーズ入りの「チーズin」の3種。オンラインショップでも購入できる。

上田ファーム直売・加工場

苫前町古丹別249-1 TEL.0164-65-4978 10:00~16:00
土・日曜、祝日、4~10月休 <https://owl-food.com/sellers/1870>



アプレの取り組み

◎養液無廃棄

すべての野菜を同じ養液「単質養液」を採用し、廃棄ゼロを目指している。



◎自然エネルギーの活用

温泉熱と地中熱、そして井戸水の3つを組み合わせて冷暖房を賄っている。



◎環境制御

二次元コードとハンディー端末を活用した、生育データの記録保存およびトレーサビリティを実現。



株式会社アプレ

七飯町東大沼175-1 TEL.0138-83-8341
<https://www.apure.co.jp>

